

Press Release

(報道関係各位)

2026年3月18日
国立大学法人宇都宮大学
独立行政法人国際協力機構筑波センター
(JICA 筑波)

日本の「食育」がパラグアイの生活習慣病を予防する！

— 宇都宮大学と JICA 筑波が技術協力 —

宇都宮大学と JICA 筑波は、「パラグアイ国農村部住民に向けた生活習慣病予防食育プロジェクト」を、2026年2月より開始しました。本事業は、住民が肥満や生活習慣病を予防するために必要な食生活の知識を身につけ、健康的な食事を実践できるよう支援するものです。

プロジェクトは JICA 草の根技術協力事業(草の根協力支援型)として実施し、食育活動の定着と地域の健康増進を目指します。(案件の詳細は別紙参照)

■ 事業背景

WHO(2022年)の報告によれば、パラグアイでは成人の約6割が過体重、約4人に1人が肥満であり、糖尿病有病率は14.3%と高い状況にあります。対象地域では野菜摂取の習慣が乏しく、赤身肉・脂肪・食塩の多い食事が一般的です。また、栄養教育の機会がほとんどなく、学校教育でも家庭科を含む食育が十分に行われていません。

こうした状況から、住民が自ら「健康的な食生活」を理解し、実践できる力を育むことが急務となっています。

■ プロジェクトマネージャーおよびメンバー

- プロジェクトマネージャー

宇都宮大学 共同教育学部 芸術・生活・健康系
家政分野(食教育研究室)
准教授 カバリエロ 優子

● 活動メンバー

帝京平成大学 健康メディカル学部 健康栄養学科
教授 野口 律奈

北里大学 薬学部 臨床医学(臨床統計学)
助教 牛渡 愛

帝京平成大学 ヒューマンケア学部 鍼灸学科
講師 小峰 昇一

人間環境大学 環境科学部 環境データサイエンス学科
准教授 小谷 博光

■ 実施期間

2026年2月25日 ~ 2029年2月24日

■ 今後の予定

- ・2026年3月:第1回現地調査(パラグアイ)
- ・2026年8月:本邦研修(宇都宮大学)
- ・2027年3月:第2回現地調査・実習(パラグアイ)
- ・2028年3月:第3回現地調査・実習(パラグアイ)

■ 宇都宮大学について

共同教育学部芸術・生活・健康系 家政分野(食教育研究室)では、衣・食・住を基盤とした生活科学と食育の実践力を育成しています。科学的アプローチに基づく食生活実験や調理・栄養の学修を通じ、地域や学校現場で活かせる指導力を備えた人材を育成しています。

■ JICA 筑波について

JICA 筑波は、茨城県・栃木県の自治体・大学・企業・NPO/NGO 等と連携し、地域の知見を活用した国際協力を推進しています。その一環として、地域のパートナーの提案に基づく草の根技術協力事業を実施しています。

詳細: [草の根技術協力事業 | 日本国内での取り組み - JICA](#)

【問い合わせ先】

- 宇都宮大学共同教育学部 芸術・生活・健康系 家政分野(食教育研究室)
准教授 カバリエロ 優子
TEL:028-649-5367
E-mail:yukocaballero@a.utsunomiya-u.ac.jp
- JICA 筑波 連携推進課
担当:井上 裕二、服部 将之
TEL:029-838-1117
E-mail:tbictpp@jica.go.jp



調理実習に使う食材とともに
(日本の活動メンバー)



調理実習後の集合写真
(参加者とカウンターパートのみなさん)